

《企画書》

提出者 氏名 SHOHKO

【タイトル】 It's a small word ～わたしの小さな言葉～

【概要】

日常生活の中で心に浮かんだ小さな言葉を集めました。お読みくださった方の心がふっと解けて柔らかくなると嬉しいです。

【想定する読者ターゲット】

- ① 全ての年代
- ② 傷ついたり、悩んだり、疲れている人
- ③ 優しい人

【構成案】

詩集のような言葉集

【サンプル原稿】

* 言葉をお読みくださった方の気持ちが、ふっと軽くなることがあれば嬉しいです。

文字は記号だけど、優しい気持ちで組み合わせられると、優しい言葉になる。
小さな言葉だけど、誰かの心に届いて、心がほどけて、
気持ちがつながれると嬉しい。

私が食べると、おいしい。
あなたが食べると、うれしい。

分け合って、分かり合える。

「どうでもいい」と「どちらでもいい」は随分違う。

本気で怒ったら、男は眼が据わり、女は腹が据わる。

お金を使う。
物を使う。
体を使う。
気を使う。
一番大切なのは、
心を使う。

正しいと感じたことを、簡単にあきらめてはいけない。
哀しみを、できるだけ早く遠ざけようと焦ってはいけない。

足がある。
歩こう。
手がある。
作ろう。
頭がある。
考えよう。
心は、
どう使おう。

これでいいのか
吐き捨て掃き捨て
言葉を人を

飲めと言う煮え湯
笑って飲み干す

気配り
心配
思いを配る

傍観者は、汚れも傷つきもしない

判断力のない人は、権威に弱い

人はパンのみに生きるにあらず。されど、パン無しにも生きられず。

「望む」だけでは叶わない。相手によっては、「要求」しなければならない。

顔の造作は親の責任。人相は自分の責任。

物事には筋と順序がある。

まっすぐ筋を通してしていると、相手が崩れてゆく。

悲しみ、苦しみは時間とともに薄れるが、憎しみ、恨みは時間とともに濃くなる

自分のことばかり考えていると何もかも自分でしなくてはならなくなる。他人のことを大事に考えていると、自分のことは誰かが助けてくれるようになる。

信じきる。やりきる。「きる」は完結すること。それ以外にあれこれ考えない。

お金も恩も、借りたものは返すのが人間。

生きる力とは矛盾に耐える力である

矛盾や無駄や不条理に対して、どういう態度を取り続けるのかを決めるのは自分

自恃自得

二流はお金で仕事をする。一流は自分のプライドで仕事をする。

才能は嫉まれるが、盗まれることがない

うれしくて上がらず、悲しくて下がらず

「まあいいか」は、やがて「もういいか」になり、そして最後は「どうでもいいか」になっていく。

傍観者は遠くから文句を言い、志をもつ人は現場に立って行動する。

自分のことを知りたかったら、鏡を見ていても分からない。他者と関わる。外に出る。好きなこと嫌いなこといろんなことをやってみないと分からない。

幸せや元気に、単位があれば楽しいかも。「今日は幸を 100 グラム、元気を 50 センチメートルもらった」

教養とは人の知的な品性をいう。

沈黙が恐くて喋りすぎる

孤独が辛くて群れたがる

もっと静かに

もっと一人でいないと

大切なものが分からなくなるのに

俳句は韻文学だから、声に出して音にする。文字は干物。声に出すのは水に干物を放すこと。

俳句は決断力

データと情報は違う

かた

形 方 型

方向と見た目が大事なこともある

許せない、許せない、許せない、許せない。
自分を一番許せない。

溜まっていませんか。心のチリ。

挑戦とは未来を突き刺すこと

両手で渡す

両手で受け取る

両手を合わせて感謝する

ありがとう

[以上となります。よろしくお願いたします]